

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学病院循環器内科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の許可のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように個人のプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究にカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。不参加のお申し出があった場合も、患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究名称]

発作性上室頻拍症の鑑別における新しい心電図診断法の開発

[研究の背景]

発作性上室頻拍症には大きく分けて房室結節リエントリー性頻拍と房室回帰性頻拍という不整脈があります。それぞれの不整脈は発生のメカニズムや検査方法、治療法も異なりますが、実際にカテーテル検査・治療まで行わないと診断の確定は出来ません。そこでカテーテル治療前の心電図で簡単に鑑別診断が出来ないか多くの研究がなされて来ましたが、未だ有効な診断法はありません。

[研究の目的]

今回の研究は、すでに不整脈の診断・治療を終えられた方の発作時の心電図を振り返ってより詳しく解析し、発作性上室頻拍症の新しい心電図による鑑別法を開発する事が目的です。これにより手術前に診断の予想ができれば、適切な検査方法や治療法を選択できる可能性があります。

[研究の方法]

●対象となる方

2012 年 7 月 1 日から 2016 年 12 月 31 日の間に発作性上室頻拍に対するカテーテルアブレーションを受けた方

●研究期間

研究許可日 ～ 2021 年 04 月 30 日

●利用するカルテ情報

電子カルテより、年齢、性別、身長、体重、疾患、心電図検査の結果、心臓超音波検査の結果、カテーテルアブレーションの結果などのカルテ情報を用いて解析を行います。

●情報の管理

情報は匿名化を行って、直ちに個人が判別できる情報は含まれないよう加工されます。匿名化された情報から研究対象者を識別できる対応表は、研究責任者の指示に基づき施錠された場所またはパスワードで保護された電子情報として保管されます。保管期限は研究終了または論文公表から5年間です。

診療科 (部署) 名	循環器内科
情報の管理者名 (研究責任者または研究分担者)	矢崎義直

[研究組織]

	職名	氏名	研究における役割
研究責任者	助教	矢崎義直	データ解析と研究統括
研究分担者	准教授	里見和浩	研究指導
研究分担者	主任教授	近森大志郎	研究指導

[問い合わせ先]

相談窓口	担当者名	矢崎義直
	住所	東京都新宿区西新宿 6-7-1
	施設名	東京医科大学病院
	診療科 (部署)	循環器内科
	電話番号	03-3342-6111 内線 5900 (平日 9:00～17:00)